

近郊ウォーキング

丹生山

生4-北 廣川 幾雄

神戸電鉄箕谷駅前から市バス衝原行きに乗って丹生神社前で下車すると、そこが丹生山の登山口である。石の鳥居を過ぎ、真っ直ぐ行くと右側に丹生宝庫がある。丹生神社の神宝が納めてあるという。ここに山頂まで2.8kmの標識がある。やがて道の左右に丁石（一丁ごとに距離を示した標識）が立っている。廿四丁から始まっているので数えながら歩くと足がはかどる。十二丁のところに地藏様が祀られている。これを左に曲がると表参道、真っ直ぐ行くと裏参道である。裏参道の方がすこし楽なようであるが、あと1キロだから表から行こう。山頂に着くと

ノぞらえ、王城鎮護を願って山上に山王日吉神社を祀った。中世には明要寺は大いに栄え、多数の僧兵をかかえ軍事上の一大拠点となっていた。戦国時代には三木の別所氏と結び、秀吉の三木城攻めに際しては大いに抵抗した。花隈、再度山、谷上、丹生山、三木という補給ルートがあったため、三木城はなかなか落ちなかったといわれる。ついにしびれを切らした秀吉は丹生山の焼き打ちを命じ、1579年明要寺は消失してしまう。数千の僧俗が焼殺されたが、その時殺された稚児たちをのちに村人が葬ったのが稚児墓山である。明要寺はのちに秀吉によって再興されたが、明治の廃仏棄釈によって廃絶され、日吉神社が丹生神社と改められたという。



✓ 無人の丹生神社があり、ここから播州平野が一目で見渡せる。

丹生というから昔はここで丹（水銀の鉱石、辰砂ともいう）が採れたのであろう。神功皇后がここで丹を採ったといわれている。明治以前はここに明要寺という大きな寺があった。伝説では百済の王子が仏教を伝えるため日本にやってきて、明石に上陸しここに丹生山明要寺を建立したという。平安末期に福原遷都を行った平清盛はこの山を比叡山にな

✓ 帰路は今来た道に戻ってもいいが、縦走路にしたがって帝釈山まで行くのも良い。帝釈山から下りたところが428号線で、だらだらの下り道を1時間はど歩くと谷寺口のバス停である。



募集！ 滝谷ホーム

お泊りボランティア

滝谷ホームは社会福祉法人新緑福祉会が知的障害者生活援助事業の一つとして開設しているグループホームです。この施設で夜の8時から翌朝8時まで宿泊するボランティアを募っています。朝食と謝礼が支給されます。場所は下のマップをご覧ください。すでに“わ”から多くの方が行っております。長田区の田中さんの体験記が8ページにありますから参考にしてください。

応じてくださる方は“わ”事務局へ電話（743-8101、毎週火、金曜日）されるか、group-wa@portnet.ne.jpへメールをお送りください。



編集後記

1月発行を安易に2月に延ばしたのが浅はかでした。紙面ができて、さて印刷機の予約をしようと思ったら、この時期、3年生のレポート印刷で全然入る余地がないことが分かり、愕然。どうしてこれが読者に届いたかは、ご想像に任せますが、来年は忙しくても1月発行を守らなければと反省しています。

制作中の“わ”のホームページにも本紙を載せることになり、写真がカラーになる予定です。（サン）

情報ぎゃらりーのお手伝いを始めて今号で3回目になります。情報の氾濫している昨今、会員方に読んで貰って、楽しくなるような記事がないものが腐心いたしております。次号の編集には新に7期生が参加するでしょう。楽しい記事も一緒にこないかな。（TS）